



①今回、初めての韓国で楽しみだった反面とても不安な部分もありましたが、初めて会った五島や壱岐や対馬などの友達、韓国で迎えてくれた日本の方、韓国の学生さんたちがとても優しくて充実した3日間でした。海ゴミワークショップでは「ビーチコミュニケーション」のお話や拾ったゴミでの「アートワークショップ」も行いました。海で拾ったゴミを使って作品を作るのは初めての経験で、とても楽しかったです。他にも韓国の学生さんたちとみんなでグループディスカッションを行い海ゴミにはどんなものがあるのか、どうすれば海ゴミを減らせるのかということを考えました。今回のワークショップで、海ゴミが海の生物にどんな被害を与えていて、それを減らすためにはどうすればいいのか学びました。初めてで不安なことばかりでしたが、とても貴重な経験ができました。

②今回は、初対面の人と初海外で『初』が沢山経験できた良い機会となりました。お互い言語が通じない中で、海ごみについての知識を共有して理解を深めることの難しさに悩みながらも少しずつ会話をすることができるようになりました。実際に韓国に行って現地の人と交流できるという貴重な体験ができた上に友人ができたことがとてもうれしかったです。この出会いをこれからも大切にしていきたいと思います。

③私は今回の日韓高校生海ごみワークショップ事業に参加して、改めて海ごみの現状を知ることができました。海ごみが与えている影響について考えることができ、改善策なども話し合えることができてよかったです。そして、実際にゴミ拾いをしてそのごみを違った形で再利用し、無駄にしないで使うことができることも学びました。今回の経験を生かしてもっと自分にできることを見つけ過ごしていきたいと思いました。

④日韓高校生交流ワークショップに参加して、五島の海と影島区の太宗台の海の違いについて知ることができました。五島の海では、プラスチックボトルや発泡スチロールのゴミが多いですが、太宗台の海は、全体的にタバコのゴミや紙類が多いことが分かりました。また、韓国では、拾った海ゴミをそのまま処分するだけで終わらず、海ゴミを生かしてアート作品を作り、精力的に活動に取り組んでいることが分かりました。韓国の高校生とのワークショップでは、「言葉の壁」というものもありましたが、みんなそれぞれ海ゴミの課題や改善策の意見を交換できました。また、F1963という場所に行き、プラスチックの歴史について知ることができてよかったです。

⑤他の離島の学生や韓国の学生とワークショップを通して、今の海ごみの現状を知って、どう解決していくかと一緒に考えることができて良かったです。最初は言葉の壁があって不安だったけど、英語など上手く使い、コミュニケーションを取ることで楽しく交流することができたので良かったです。

⑥長崎の高校生だけでなく、韓国の高校生とも関わることができ、もう一生ないような貴重な体験をありがとうございました。ワークショップでは対馬の高校生を筆頭に意見を言い合い、とても楽しく、新しい気づきもありました。このワークショップを機にボランティア活動に積極的に取り組もうと思いました。また機会がありましたら、よろしくお願いします。